GFP沖縄

令和４年度グローバル産地づくり緊急対策事業
（GFPコミュニティ構築支援加速化委託事業(地方版)）
実施報告書

株式会社プロダクツ・プラニング
株式会社Aglin

事業の全体像　~"GFP沖縄"の立上

Plan

沖縄県内輸出プレイヤーの掘り起こしを行いつつ、商社・バイヤーを巻き込んだ出口を見据えた輸出チームづくり・輸出実証を促し、持続的な輸出拡大に結びつける。



はじめての輸出体験を"輸出スタートアップハブ"
GFP沖縄

沖縄県内輸出プレイヤーの掘り起こし

- ベンチャー・スタートアップ　イベント勧誘
- 輸出産地　イベント勧誘

輸出チームづくり

輸出事業計画PDCA

商社・バイヤー

参加

GFP沖縄サミット in 本島・離島（セミナー・交流会）

- 本島エリア：浦添
- 離島エリア：石垣島・宮古島

連携

企画反映

行政機関

行政若手輸出塾

チームづくり・議論踏まえたトライアル実証

那覇空港・離島からの輸出に向けたトライアル実証

- オイシックスと連携した沖縄の特色を活かしたEC販売

沖縄県付加価値事業

GFP産品輸出実証

ノウハウ連携・デマケ

沖縄県PR事業・農林事業

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC.　Aglin,INC　All rights reserved.

GFP沖縄での新規取組（1/3）

Do

GFP沖縄の状況

- **GFP沖縄登録者は約160社**(※)に到達しており、本事業においては県内事業者の掘り起こし・出口づくり等を実施した結果、**2023年4月以降で43事業者の新規登録**が行われ、うち**GFP継続活用率も約7割**と多くのメンバーをGFP活動に参画・誘導することができた

具体的な取組

- **GFP沖縄サミットの開催での掘り起こし・イベントフォローアップの導線づくり（早期の輸出実現）**
  - イベント開催後に、掘り起こした事業者を対象に①オイシックス・ラ・大地と連携した香港への輸出実証（第一弾12商品出展）及び②沖縄大交易会への出展（10事業者出展・51関連事業者訪問）、③沖縄県事業実証への誘導（12商品輸出）等を通じて、早期の輸出実現に寄与
- **行政若手輸出塾の開講（輸出支援機関の連携）**
  - 沖縄県や中小機構等の輸出支援機関を巻き込むことで、①農薬規制等のフォローアップ（うりずんファームの情報連携 with中小機構）、②インドでの泡盛商談フェア（酒類輸出商社Japonteの紹介 with国税事務所）、③他事業活用の輸出実証（GFP沖縄産品の輸出紹介with沖縄県)等を実現することができた
- **GFP沖縄LINEの発足（情報発信機能の強化）**
  - 2024年3月段階で70登録がなされ、県内輸出関連イベント・輸出実証・補助事業紹介等を2～3通/週程度発信。個別チャットを通じ、事務局に相談可能な体制も確立され、情報収集基盤を構築できた
- **重点課題の関係者検討**
  - 沖縄県内の輸出事情を踏まえ、①沖縄国際物流ハブの活用に向けた物流検討会（GFP沖縄×GFP鹿児島連携）及び②畜産検討会（石垣島の畜産事業者間）を実施。特に畜産検討会では参加事業者（八重山食肉センター×池田冷凍食品）がマッチングし、2024年2月にタイにて共同営業を実施

※2024年3月時点のGFP管理簿情報より

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin,INC All rights reserved.

GFP沖縄での新規取組（2/3）

Do

沖縄県内輸出プレイヤーの掘り起こしを行いつつ、商社・バイヤーを巻き込んだ出口を見据えた輸出チームづくり、輸出実証を実施し、持続的な輸出拡大に結びつける。

GFP沖縄の取組

GFP沖縄発足（2023年6月～）





- 「輸出スタートアップハブ」をテーマにしたGFP沖縄を発足し、メディア・輸出支援機関等と連携しながら発足を周知
- 継続的な伴走支援を通じて、出口を見据えた商社・海外バイヤーとのマッチング等を実施

GFP輸出スタートアップ沖縄サミット（2023年7月）





- 第一弾のキックオフ＆マッチングイベントとして、7月27日に沖縄本島(浦添市)を実施
- スタートアップ戦略会議として、未来の沖縄からの輸出づくりについて検討。初心者向けのグループマッチングも実施

離島開催（2023年11月）



- 離島からの輸出促進(物流体制構築・地域産品の輸出強化)を目的に、宮古島・石垣島にてイベント開催
- また有力EC事業者の招致・チャレンジ実証を通じて、持続的な輸出拡大にまで繋げる

有力商社招致・フォローアップ

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin,INC All rights reserved.

GFP沖縄での新規取組（3/3）

Do

沖縄県内輸出プレイヤーの掘り起こしを行いつつ、商社・バイヤーを巻き込んだ出口を見据えた輸出チームづくり、輸出実証を実施し、持続的な輸出拡大に結びつける。

GFP輸出スタートアップ沖縄サミット

第一部
スタートアップ戦略会議

県内のベンチャー事業者を対象に、
沖縄からの未来の輸出戦略を検討





第二部
キックオフセミナー

輸出×沖縄ならではのテーマを軸に
輸出ビジネス事例を紹介(観光やSDGs等)





第三部
試食交流会・マッチング

沖縄県産品の試食紹介及び、
グループ・個別マッチングを実施





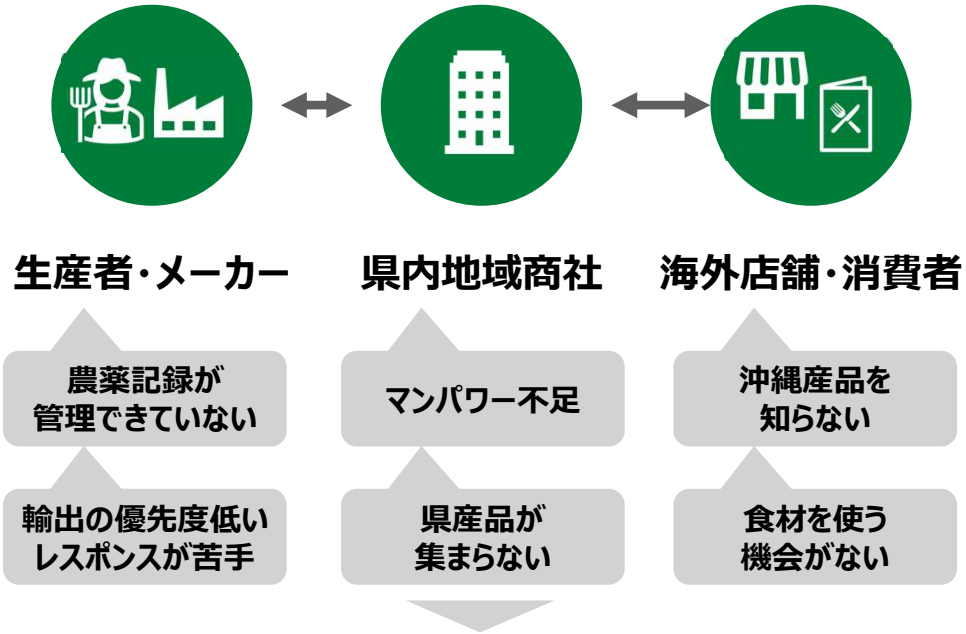
Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin,INC All rights reserved.

（イメージ）取組結果を踏まえた「県産品の現状課題・目指すべき姿」

Check

沖縄には、年間百万人の海外観光客が訪問。観光地としての「沖縄」は知名度が高く、一定のブランドとして認知されているものの、輸出をにらんだ沖縄県産品については、品質面、供給面でも、そのプラスイメージに追随できていない。生産強化(GFP沖縄)×販路開拓(県)×輸出実務(商社)でのチーム体制を整備し、品質面・供給面の底上げを図りつつ、更なる展開として、沖縄のロイヤルカスタマー・ブランド作りを推進すべき。

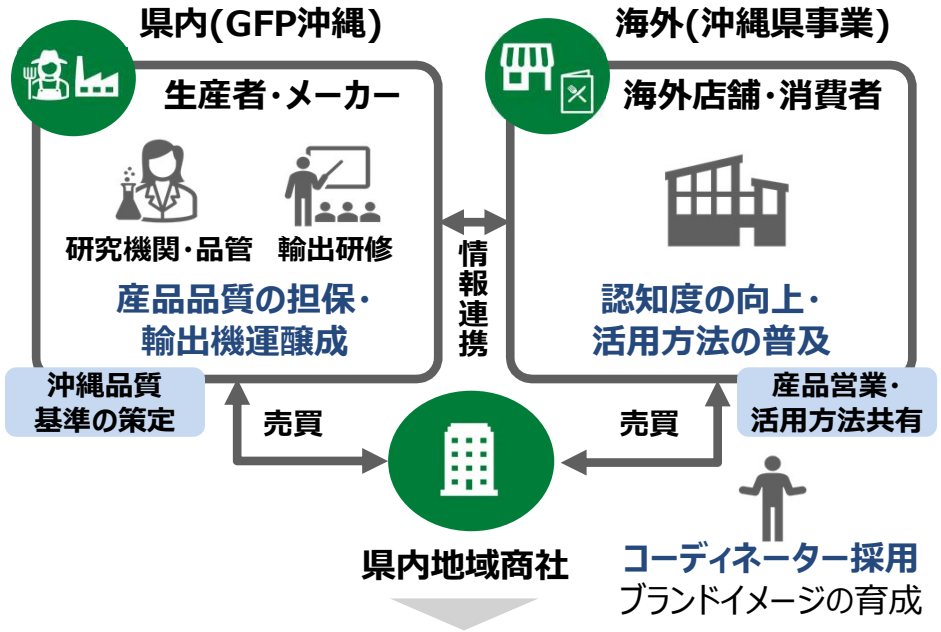
現状課題(As-Is)



沖縄の特性・メリットを生かした輸出体制ができていない

- 県内は大規模な生産基盤がない等の事情から、沖縄県産品が集まりにくい状況はあるが、他県に比べて、**観光地としての知名度が高く、インバウンド需要が取り込めるポテンシャルがある。**
- 一方、生産者側は販売は商社まかせとなっており、**「沖縄」のイメージを活かし切れていない現状もある**

目指すべき姿(To-Be)※



上記体制づくりに加え、「沖縄のものだから欲しい」というような沖縄のロイヤルカスタマーを作り、沖縄ブランドを育てる戦略も必要

- これらを達成するために、海外営業を担う、コーディネーター(若手推奨)を起用することで、県産品の認知度向上・活用方法普及を行い、**沖縄のイメージを乗せた「沖縄ブランド」を育成**
- 県内、海外が情報連携をし合いながらも、産品品質の担保を行うための支援や機運醸成に関する研修を実施

※沖縄総合事務局・沖縄県事業とのデマケも図りながら、効果的な施策を実現・推進。

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin,INC All rights reserved.

課題に応じた「具体的なアクションプラン」（1/3） ※GFP沖縄で実現できること Action

取組を通じた課題

- **はじめて輸出に取り組む事業者の事前準備不足**
  - **商品規格書・見積の準備不足：**石垣島サミット後に香港バイヤーより、食肉加工品の引き合いがあったが、商品規格書・見積書を提出することができず、輸出取引に繋げることができなかった
  - **輸出に至れない商品品質・体制：**オイシックス実証では、45商品がエントリーしたが、21商品の商品が輸出に至らなかった。中でも、添加物や商品表示等の商品管理が原因で輸出に至らないケースが最多となった（輸出に至らなかった要因：①添加物、商品表示（5社12商品）、②与信管理（3社5商品）、③その他（輸入商社側の都合等）（3社４商品））

    → 輸出に必要な書類の準備や、輸出可能な商品であるかの事前確認が重要。県内品管専門家を用いて、現地視察や商品情報の確認を推進していくべき
- **高度な専門的輸出支援体制の構築**
  - 県内では既に輸出を成功させている島唐食品(調味料)・ジーオーファーム(牡蠣)も存在しており、新たなマーケットへの進出も検討しているなか、専門的な輸出相談(EC取引の契約・添加物対応・海域指定等)も増えている。

    → 輸出経験のある事業者は、輸出先国の規制に対応した成分分析、包装資材、パッケージデザイン改良等の個別の課題に応じた輸出の専門家に随時相談できる機会を設けることが必要
- **輸出優先度の低さ**
  - 観光ビジネスが盛んな県内では、観光をはじめとした内需のウェイトが高い。地域によっては輸出に対する意欲が低く、行政機関の協力体制が得られないケースもある。輸出によるメリットの訴求が重要

    → 輸出の機運醸成に向けて、地域の関係者を巻き込みやすい小規模イベントの開催・LINE等のツールを活用しながら、輸出関係者との定期的なコミュニケーションが必要

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin,INC All rights reserved.

課題に応じた「具体的なアクションプラン」（2/3） ※GFP沖縄で実現できること Action

取組の方向性

輸出熟度に応じた専門分野のサポート（※実践的且つ具体的な支援）

- **これから輸出に取り組む事業者への支援**

  意欲はあるものの、輸出に向けた準備が不足している事業者が多い。商談に向けた商品登録シートの作成、商品の品質管理等、最初につまずきがちな段階を支援することが重要。

- **輸出経験のある事業者への支援**

  経験があり、更に新たなマーケットや商品で輸出にチャレンジしようとしている事業者は、相手国の規制に対応した成分分析、包装資材の選定、パッケージデザイン改良等、専門性の高い課題をクリアする必要がある。専門家に相談できる機会を設けることが必要。

掘り起しと輸出機会の創出

- **輸出相談会の開催**
  - 掘り起しとして、地域の関係者を巻き込んだコミュニケーション重視した輸出相談会を行う。石垣島・宮古島で実施した規模、進め方の方が、相手の課題に応じた支援が可能で、事業者の満足度も高い。
  - マッチングの裏側では、バイヤーグループワークだけでなく、事務局が輸出に向けた相談を受けることで、今後のTodo・事業活用の仕方等を提案でき、効果も高い。
  - 沖縄らしく、省エネでできる沖縄大交易会などの取組は継続したい。石垣・宮古島イベント直後の大交易会は、すぐに事業者フォローアップにも繋げられた。イベント後に再度事業者と接触するのは有効。
  - その他、コロナにて輸出をストップしてしまったが、輸出への意欲・知識のあるリスタート組への支援を行うことで、早期の輸出実現を行う。

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin,INC All rights reserved.

課題に応じた「具体的なアクションプラン」（3/3）　※GFP沖縄で実現できること　Action

- **品目・業種部会での支援体制**　※伴走支援の強化
  - これまで物流検討会（浦添イベント、GFP鹿児島）や畜産検討会（石垣島イベント）を実施してきた。GFPですべき役割の明確化をしながら、各品目・業種の輸出に寄与できる動きをしていくべき。

    （例：物流（卸など産品を集約してくれるスタートアップ・EC事業者の誘致）、畜産（石垣島生産者の取りまとめ））
- **輸出実証（輸出機会の創出）**
  - 掘り起しの出口戦略として、今年度は、オイシックス香港で実証を実施したが、輸出商品の層を広げる実証の必要性
  - 事業者のレベルUPに繋がる実証として、書類提出・輸出に向けた主体性を出させるような実証の検討
- **他輸出支援機関との連携と情報発信　※発信強化**
  - 行政輸出塾を継続的に実施しつつ、他機関で活用可能な実証メニューの募集をGFP沖縄サイト及びLINEで流していくことで、輸出のきっかけづくりを行う
  - 今年度事業で活躍したGFP沖縄メンバーの取組を取りまとめて、発信していく

<u>海外実地営業</u>

- 海外ビジネスでもあり、現地視察・キープレイヤーとの打ち合わせをしたいニーズも高いので、GFP沖縄でも同行営業のアテンドや沖縄メンバーで視察(できたら現地でプチイベント)を行う

Copyright© 2024 PRODUCTS PLANNING,INC.　Aglin,INC　All rights reserved.